

# 視聴覚教育

NO. 358

発行日

21. 12. 21

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

## 視聴覚機器保有調査の報告

### 学習情報部研修部会

学習情報部研修部会では、平成21年7月に、各学校の視聴覚機器の保有状況調査を実施した。調査の内容は「機器の保有状況」「購入を希望している機器」「最近購入し使用して便利だと感じた機器」の三項目である。詳細は年度末に刊行される『岡崎の視聴覚教育(第41号)』に掲載されるが、その概要を述べる。

主なデジタル機器の平均保有数【表1】

機器名	小学校	中学校	全体
DVD プレーヤー	4.9	7.8	5.8
DVD レコーダー	0.9	1.3	1.0
デジタルビデオカメラ	3.3	4.3	3.5
MD 付ラジカセ・コンポ	7.7	6.8	7.5
ビデオプロジェクター	3.1	3.2	3.1

主なデジタル機器の1校あたりの平均保有数は【表1】のとおりである。昨年に比べ、どの機器も1/2割程度増加している。DVD関係では、小学校の方がやや普及が遅れている。今年度の調査からOHPや16ミリ映写機など、旧世代の視聴覚機器は項目から除外した。

**視聴覚用語**  
『AVCHD』  
高精細なハイビジョン映像をDVD記録用ディスク、内蔵ハードディスクドライブ、内蔵メモリー、メモリーカード上に撮影記録できるように開発されたビデオカメラ記録フォーマット。高圧縮な記録方式を採用することにより、ハイビジョン映像の長時間撮影が可能になった。

デジタル化の進展の中で、利用頻度が低下し、学校教育における役割を終えつつあると考えられるからである。代わりに、デジタル機器の中でも進化の著しいデジタルビデオカメラの分類を詳細に行った。民生機においてもハイビジョンが主流となり、記録方法やメディアにもさまざまなものがある。調査結果からは、従来型のミニDVテープタイプがまだ多いことが分かる。【表2】これは、おそらくハイビジョンタイプがまだ普及していないためだと思われる。今後、テレビ放送のデジタル化に伴い、ハイビジョンカメラがどのように普及するか注目される。「購入を希望している機器」では、デジタル一眼レフカメラやHDDデジタルビデオカメラが、「最近購入し、使用して便利だと感じた機器」では、ICレコーダーや書画カメラ、電子情報ボード、ワイヤレスアンテナなどが挙げられた。

デジタルビデオカメラの内訳【表2】

機器名	小合計	中合計
ミニDVテープタイプ	144	72
ミニDVDタイプ	11	3
SDカードのみ	1	0
HDDタイプ	10	6

## || 視聴覚教育あれこれ ||

### ● アジア国際子ども映画祭INいぶすき

12月5日(土)、

鹿児島県指宿市において「アジア国際子ども映画祭INいぶすき」が開催された。

今年も岡崎市から多

数の作品が応募され、奨励賞を受賞した生平小学校の児童二名が映画祭に参加した。会場では審査会、表彰式に先立ち、海外からの応募作品をはじめ、全ての応募作品がブースに分かれて上映された。

受賞作品は近日子ども映画祭のホームページで公開される予定である。

<http://www.ibusuki-movie.com/index.html>

### ● 奨励賞「カララ 大好き！」

生平小 4年 倉橋亜美 平山真帆

生平小学校に保護されたムササビの赤ちゃんを世話する様子や、子供や先生がムササビとふれあう様子を撮影した作品。ムササビの気持ちになつて入れたナレーションも子供らしくてかわいらしい。



## 実践報告Ⅱ

### 情報機器を利用した授業の工夫

竜南中学校 北村 優也

一年生の数学の授業で「ますなび先生 一年生」とスマートボードを利用して授業を行った。  
『比例と反比例』の単元の学習で、生徒がボードにグラフを書き入れ、学級全員で考えを練り上げていく。生徒の書いたグラフや意見を書き込んだ画面を写真として保存し、教師が書いたものと比べ、授業の終わりには再度映し出すことで振り返りを行った。

この教材を使用することの最大のメリットは、教科書の内容を映し出して、そこに4色のマーカーで記入しながら進めることである。教科書の内容がボードにそのまま映っているの  
で、自然と生徒が前を向いて集中して授業が進められた。また、教科書の内容から進んでいくので新しくノートを取る必要がなく、教科書に大切なことを書き込みながら考えることができた。教科書の例題を解く際には、答えの部分のみ隠して問題を解き、順を追って提示した。資料集の小テストも、関連した問題を利  
用して習熟度を図ることができた。



## Ⅱ レッツ・トライⅡ

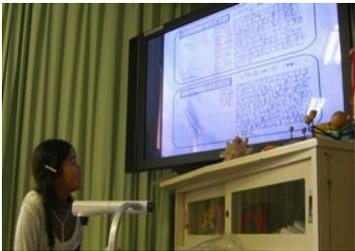
### 大型ディスプレイと教材提示器を使用して

教材提示器は、子供たちを着席させたまま、手元の教材を見せて学習を進めることができる。とても便利な機器である。映した映像を、SDカードに保存できるカメラ機能もある。顕微鏡で映した小さなものの拡大写真を残すこともできる。レンズを子供たちに向けてテレビに繋ぐと、子供たちの様子が画面に映し出される。音楽の授業では、姿勢や口の開け方が自分で確認できる。これも、レンズの方向を変えるだけで簡単にできる。

ホタルの様子を観察したときには、画面が大きいので、足の細かな分かれ目や背中模様までくつきりと画面に映し出された。幼虫はすぐに動いてしまうため、画像を一時停止させ観察をした。その後、子供が書いた観察記録を提示器を使用して発表させた。

この機器の導入を機に、作品やノートからもお互いの良さを見つけていることが増えた。高め合える学習集団を形成するための一手段として、新しく導入された機器を使いこなせるようにしたい。

(美合小学校 学習情報主任 成瀬 美穂)



## ライブレコーダーだより

年度初めより自作教材制作委員会で制作を進めていた自作教材作品が最後の仕上げの段階に入っています。それぞれの作品は、小中学校の授業等で学習を具体化するために役立つものになっていきます。作品のタイトルは次のとおりです。なお、これらの作品は全て複製して、2月の学習情報主任会にて各小中学校に配付予定です。今までの作品と合わせて、積極的な活用を  
願います。



### A班『伝統の技を守る〜三河仏壇の挑戦』

アートマンジャパン〜

(ビデオ教材)

対象 中学2年 地理)

### B班『蘇る手がき幟』

(ビデオ教材)

対象 中学3年 公民)

### C班『しんせんでおいしいたまご作り』

(ビデオ教材)

対象 小学5年 社会)

### D班『ヒメハルゼミ』

〜山中八幡宮に残された生きた化石〜

### E班『YANKUMI』

(ビデオ教材 対象 中学3年 理科・社教)

### F班『Sound of OKAZAKI』

(ビデオ教材 対象 中学2年 英語)

### 『音の秘密を探ろう〜』

(マルチ教材 対象 中学1年 理科)

### G班『きょう土につたわるねがい2009』

(マルチ教材 対象 小学3・4年 社会)